

適用害虫の範囲及び使用方法

| 作物名 | 適用病害虫名 | 希釈倍数 | 使用 液量 | 使用時期 | 本剤の 使用 回数 | 使用 方法 | インドキカルブ及び インドキカルブ MP を 含む農薬の 総使用回数 | | | |
|---------------|--|-----------------|-----------------|---------------|-----------------|----------|---|--------------|--------|--------|
| キャベツ | コガ アムシ | 1000～ 2000 倍 | 100～300 L/10 | 収穫7日前 まで | 2回 以内 | 散布 | 2回以内 | | | |
| | ヨウムシ ハスモンヨウ タナキソウバ ハイダラノメカ ハイダラノメカ | 2000 倍 | | | | | | | | |
| はくさい | コガ アムシ | 1000～ 2000 倍 | | | | | | 収穫21日前 まで | | |
| | ヨウムシ ハイダラノメカ カブラハチ | 2000 倍 | | 収穫14日前 まで | | | | | | |
| だいこん | コガ アムシ ヨウムシ ハイダラノメカ カブラハチ | | | 2000 倍 | | | | 収穫7日前 まで | | |
| ブロッコリー | コガ アムシ | 2000 倍 | | | | | | | 2000 倍 | 8～16 倍 |
| ねぎ | シロイモシヨウ | | | 1000 倍 | | | | 2000 倍 | | |
| いちご | ハスモンヨウ オオタバコガ | 2000 倍 | | 2000 倍 | | | | | 2000 倍 | 2000 倍 |
| なす | ハスモンヨウ オオタバコガ テントウムシダマシ類 | | | | | | | 2000 倍 | | |
| トマト | ハスモンヨウ オオタバコガ | 2000 倍 | | 2000 倍 | | | | | 2000 倍 | 2000 倍 |
| ピーマン | オオタバコガ | | 2000 倍 | | 2000 倍 | 2000 倍 | 2000 倍 | 2000 倍 | | |
| レタス 非結球レタス | ハスモンヨウ オオタバコガ ヨウムシ | 2000 倍 | | 2000 倍 | | | | | 2000 倍 | 2000 倍 |
| えだまめ | ハスモンヨウ | | 2000 倍 | | 2000 倍 | 2000 倍 | 2000 倍 | 2000 倍 | | |
| だいず | | 8～16 倍 | | 800 mL/10a | | | | | 2000 倍 | 2000 倍 |
| かんしょ | ハスモンヨウ カジロシバ | 2000 倍 | 2000 倍 | 2000 倍 | 2000 倍 | 2000 倍 | 2000 倍 | | | |
| さといも | ハスモンヨウ | | | | | | | | | |
| しょうが | ハスモンヨウ アヲノメカ | 2000 倍 | 2000 倍 | 2000 倍 | 2000 倍 | 2000 倍 | 2000 倍 | | | |
| たばこ | タバコアムシ ヨウムシ | | | | | | | | | |
| きく | ハスモンヨウ | 2000 倍 | 2000 倍 | 2000 倍 | 2000 倍 | 2000 倍 | 2000 倍 | | | |

【成分】 インドキサカルブ 5.0%
鋳物質微粉、界面活性剤等 95.0%

【性状】 淡褐色水和性細粒

殺虫剤分類

22A

効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 害虫は同一剤の連続使用により抵抗性害虫が出現し、効果の劣った例があります。使用に当っては、関係機関の指導を受けてください。また、過度の連用をさけ、可能な限り作用性の異なる薬剤やその他の防除手段を組み合わせ使用してください。
- ねぎのシロイチモジヨトウを防除する場合は、食入前の若令幼虫期に散布してください。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守ってください。
 - ① 散布は散布機種種の散布基準に従って実施してください。
 - ② 散布に当っては散布機種種に適合した散布装置を使用してください。
 - ③ 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ① ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
 - ② 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
 - ③ 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
 - ④ 散布直後から1日後まではミツバチを移動させるか、巣門を閉じてください。

- マルハナバチに対して影響を与えるおそれがあるので、散布の際はマルハナバチ及び巣箱にかからないようにしてください。また、散布直後から6日後まではマルハナバチを移動させるか、巣門を閉じてください。
- つまみ菜、間引き菜には使用しないこと。
- 火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤等で消火に努めてください。
- 漏出時は、保護具を着用し掃き取り回収してください。
- 移送取扱いは、ていねいに行ってください。
- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

- ラベルをよく読んでください。
- 記載以外には使用しないでください。
- 小児の手の届くところには置かないでください。
- 空袋は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。